



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバルテレコム
コード番号 9445 URL <http://www.forvaltel.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 谷井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 山本 忠幸

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3233-1301

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	6,620	△1.8	112	△34.2	108	△34.3	52	△7.3
23年3月期第2四半期	6,740	△3.1	171	37.6	165	39.7	56	△23.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 51百万円 (△4.4%) 23年3月期第2四半期 53百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	313.56	—
23年3月期第2四半期	338.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第2四半期	6,021		1,836		30.3	
23年3月期	6,345		1,919		30.0	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,823百万円 23年3月期 1,906百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	700.00	—	800.00	1,500.00
24年3月期	—	700.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	800.00	1,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	3.2	430	9.9	430	9.8	250	60.8	1,500.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	166,932 株	23年3月期	166,932 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	166,932 株	23年3月期2Q	166,932 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予測数値と異なる可能性があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11
(8) 追加情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、不透明な環境となっておりますが、当社グループが中核的な事業領域とする情報通信分野では、引き続きブロードバンド化が進展し、携帯電話については高速データ通信が可能な第三代電話の普及が進んでおり、スマートフォンの普及も本格化の兆しを見せております。

このような環境の下で、当社グループは、法人向けVoIPサービス、おとくライン、FMC (Fixed Mobile Convergence) サービス等「IP&Mobileソリューション」と位置付ける利便性の高いサービスの拡販を中心に、中小法人向けの各種サービスを提供しております。

具体的には、当社及び当社連結子会社である㈱FISソリューションズにおいては、光ファイバー対応IP電話「FTフォン(スマートひかり)」、法人を対象とした「おとくライン」及びスマートフォンを利用したFMCサービス「ツーウェイスマート」を中心に、インターネットサービス、情報通信機器販売等を提供しております。

当社連結子会社である㈱トライ・エックスを中心とするセグメントでは、当社サービスの利用顧客からのニーズが強い「ドキュメント・ソリューション」を提供しており、上流工程から最終工程まで一貫したサービスの提供が可能となっております。

また、当社連結子会社である㈱保険ステーションにおいては、当社サービスを利用している顧客へ「コンサルティング」を提供しております。

これらにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が66億20百万円(前年同四半期比1.8%減)、営業利益が1億12百万円(前年同四半期比34.2%減)、経常利益が1億8百万円(前年同四半期比34.3%減)、四半期純利益が52百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

《IP & Mobileソリューション事業》

「IP & Mobileソリューション事業」におきましては、VoIPサービス、モバイルサービス等の情報通信サービス全般を提供しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は51億13百万円(前年同四半期比2.3%減)、セグメント利益は74百万円(前年同四半期比42.4%減)となりました。

《ドキュメント・ソリューション事業》

「ドキュメント・ソリューション事業」は、普通印刷・特注文具(ファイル・バインダー等)の製造及び販売等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は10億5百万円(前年同四半期比10.8%減)、セグメント利益は5百万円(前年同四半期比84.8%減)となりました。

《コンサルティング事業》

「コンサルティング事業」は、経営支援コンサルティング、保険サービス及びセキュリティサービス等を行っており、当第2四半期連結累計期間の売上高は5億1百万円(前年同四半期比31.4%増)、セグメント利益は56百万円(前年同四半期比46.2%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当連結会計年度における資産の残高は60億21百万円となり、前連結会計年度末比3億23百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少(51百万円)及び受取手形及び売掛金の減少(2億15百万円)によるものであります。

(負債)

当連結会計年度における負債の残高は41億85百万円となり、前連結会計年度末比2億41百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少(1億23百万円)、短期借入金の減少(49百万円)及び未払法人税等の減少(39百万円)によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度における少数株主持分の残高は12百万円となりました。また、純資産の残高は18億36百万円となり、前連結会計年度末比82百万円の減少となりました。これは主に、当期純利益の計上及び剰余金の配当によるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、16億71百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動の結果獲得した資金は、1億22百万円(前年同四半期は3億25百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益1億3百万円、売上債権の減少額2億15百万円、仕入債務の減少額1億23百万円等によるものです。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果獲得した資金は、24百万円（前年同四半期は18百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出33百万円及び貸付金の回収による収入60百万円等によるものです。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は、1億98百万円（前年同四半期は1億92百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出51百万円及び配当金の支払額1億34百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月19日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,722,298	1,671,242
受取手形及び売掛金	2,276,224	2,060,709
商品及び製品	76,789	33,790
仕掛品	45,195	102,067
原材料及び貯蔵品	15,261	16,625
その他	453,623	452,719
貸倒引当金	△26,543	△27,559
流動資産合計	4,562,850	4,309,594
固定資産		
有形固定資産	711,569	732,735
無形固定資産		
のれん	312,455	297,749
その他	179,695	149,518
無形固定資産合計	492,150	447,268
投資その他の資産		
その他	629,770	590,353
貸倒引当金	△55,806	△61,697
投資その他の資産合計	573,963	528,655
固定資産合計	1,777,683	1,708,659
繰延資産		
社債発行費	5,029	3,690
繰延資産合計	5,029	3,690
資産合計	6,345,563	6,021,944
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,716,847	1,592,914
1年内償還予定の社債	—	200,000
短期借入金	584,702	534,706
未払金	645,074	629,084
未払法人税等	92,410	52,959
賞与引当金	76,016	78,746
役員賞与引当金	7,500	3,750
その他	172,574	196,355
流動負債合計	3,295,126	3,288,517
固定負債		
社債	500,000	300,000
長期借入金	284,250	282,750
退職給付引当金	113,547	113,109
その他	233,529	200,931
固定負債合計	1,131,326	896,791
負債合計	4,426,452	4,185,308

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	542,354	542,354
資本剰余金	42,353	42,353
利益剰余金	1,323,189	1,241,987
株主資本合計	1,907,897	1,826,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,760	△3,012
その他の包括利益累計額合計	△1,760	△3,012
少数株主持分	12,973	12,952
純資産合計	1,919,110	1,836,636
負債純資産合計	6,345,563	6,021,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	6,740,787	6,620,630
売上原価	5,580,127	5,464,334
売上総利益	1,160,659	1,156,296
販売費及び一般管理費	988,943	1,043,341
営業利益	171,715	112,955
営業外収益		
受取利息	4,426	3,502
持分法による投資利益	—	4,239
その他	6,018	3,193
営業外収益合計	10,445	10,935
営業外費用		
支払利息	10,300	11,127
持分法による投資損失	2,400	—
その他	3,654	3,902
営業外費用合計	16,354	15,030
経常利益	165,805	108,860
特別利益		
固定資産売却益	—	3,297
投資有価証券売却益	3,222	—
特別利益合計	3,222	3,297
特別損失		
前期損益修正損	—	2,046
固定資産売却損	—	67
投資有価証券売却損	42,398	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,496	—
事務所移転費用	12,926	—
データセンター移設費用	—	4,020
その他	8,718	2,766
特別損失合計	69,539	8,901
税金等調整前四半期純利益	99,488	103,256
法人税、住民税及び事業税	37,030	47,371
法人税等調整額	6,384	3,562
法人税等合計	43,415	50,933
少数株主損益調整前四半期純利益	56,072	52,322
少数株主損失(△)	△396	△20
四半期純利益	56,468	52,343

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	56,072	52,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,633	△1,251
その他の包括利益合計	△2,633	△1,251
四半期包括利益	53,438	51,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,876	51,093
少数株主に係る四半期包括利益	△437	△21

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	99,488	103,256
減価償却費	78,028	79,647
のれん償却額	32,148	23,105
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,499	6,907
賞与引当金の増減額 (△は減少)	781	2,730
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,500	△3,750
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	161	△437
受取利息及び受取配当金	△4,672	△3,599
支払利息	10,300	11,127
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,185	1,055
投資有価証券売却損益 (△は益)	39,176	—
持分法による投資損益 (△は益)	2,400	△4,239
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	5,496	—
移転費用	12,926	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	△3,229
売上債権の増減額 (△は増加)	236,840	215,514
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△23,858	△15,235
未収入金の増減額 (△は増加)	△23,608	△8,839
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	6,766	△13,608
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	6,115	△8,396
仕入債務の増減額 (△は減少)	△139,857	△123,933
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	5,263	5,774
その他	6,611	△46,941
小計	342,696	216,908
利息及び配当金の受取額	4,166	3,671
利息の支払額	△9,699	△10,195
法人税等の支払額	△12,086	△87,842
営業活動によるキャッシュ・フロー	325,076	122,543
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,458	△33,085
有形固定資産の売却による収入	—	20,133
無形固定資産の取得による支出	△23,374	△22,617
投資有価証券の取得による支出	△1,000	—
投資有価証券の売却による収入	15,422	—
貸付けによる支出	△45,000	—
貸付金の回収による収入	40,340	60,029
その他	△129	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,199	24,460

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△239,992	△50,000
長期借入れによる収入	200,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△14,500	△51,496
配当金の支払額	△133,548	△134,211
リース債務の返済による支出	△4,471	△12,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,511	△198,058
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	114,366	△51,055
現金及び現金同等物の期首残高	1,591,936	1,722,298
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,706,302	1,671,242

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,232,067	1,126,911	381,807	6,740,787
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,405	4,167	1,404	8,976
計	5,235,473	1,131,078	383,211	6,749,763
セグメント利益	129,351	33,266	38,325	200,943

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	200,943
セグメント間取引消去	2,920
のれんの償却額	△32,148
四半期連結損益計算書の営業利益	171,715

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	IP & Mobile ソリューション 事業	ドキュメント・ ソリューション 事業	コンサルティング 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,113,569	1,005,286	501,774	6,620,630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,505	5,990	4,219	21,715
計	5,125,075	1,011,277	505,993	6,642,345
セグメント利益	74,514	5,052	56,016	135,582

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	135,582
セグメント間取引消去	244
のれんの償却額	△22,871
四半期連結損益計算書の営業利益	112,955

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

(8) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。